

金ヶ崎から始まる 新たな創造の拠点へ

岩手中部工業団地南エリア概要



所在地

西根大沢、北大曲、濁沢他地内
—赤枠で囲まれた部分—

開発面積

43.4ha
(農地 9.0ha、森林 25.9a
宅地 0.1ha、その他 8.4ha)



協定書に押印する高橋町長

～ 官民連携 工業用地開発 ～ 岩手中部工業団地南エリア 開発事業に関する協定締結式 東急不動産 金ヶ崎町 平野組



写真左から 東急不動産株式会社インフラ・インダストリー事業ユニットインダストリー事業本部開発企画部 小林 雅裕統括部長、
高橋寛寿金ヶ崎町長、株式会社平野組 須田光宏代表取締役社長

新たな産業集積の拠点として進めてきた「岩手中部工業団地南エリアの開発事業」がいよいよ本格的に始まります。6月5日に行われた「協定締結式」のほか、事業の概要について紹介します。

町では、昨今の自動車・半導体関連等ものづくり企業による旺盛な投資ニーズを捉えるため、岩手中部工業団地の南側への大規模開発を構想し、進めてきました。

開発にあたっては、企業ニーズにスピーディーに 대응すること、大規模開発のため町財政への負担を考慮すること、開発エリアに農地を含み土地利用調整が必要なことから、地域未来投資促進法を活用した官民連携による開発を計画しています。

6月5日に行われた「岩手中部工業団地南エリア開発事業に関する協定締結式」では、東急不動産株式会社（東京都渋谷区）、株式会社平野組（一関市）、岩手県、町関係者が出席し、協定書を確認した後、高橋町長が押印しました。

東急不動産株式会社小林統括部長は「私たちは全国的に活動しておりますが、常に地域を通

じて、より強い産業を作りたいと思っています。今回の事業も良いものをしっかり作り、進出企業や地域の人達に愛されるような場所となるよう皆様と連携し頑張っていきます」と挨拶。株式会社平野組須田代表取締役社長は「企業や町と協力し、岩手県南エリアの経済と地域の活性化に繋がるようにと思っています。地元企業として培った知識や経験を活かして、取り組みればと考えています」と本事業への思いを話しました。

最後に高橋寛寿町長は「今日の協定締結式を受け、いよいよ岩手中部工業団地南エリアの開発事業が動き出すことに、大きな期待と事業遂行への責任を感じています。今回の工業団地の造成については、近年のものづくり産業における旺盛な投資ニーズに 대응するために、令和4年度から岩手中部工業団地を拡張する構想を練ってきました。今後も綿密な連携を深めながら、事業に取り組みたいと思っています」と決意を述べました。

今後は令和10年の造成工事完了に向け、地権者への説明、各種法令に基づく開発許可等の手続きを進めていきます。